

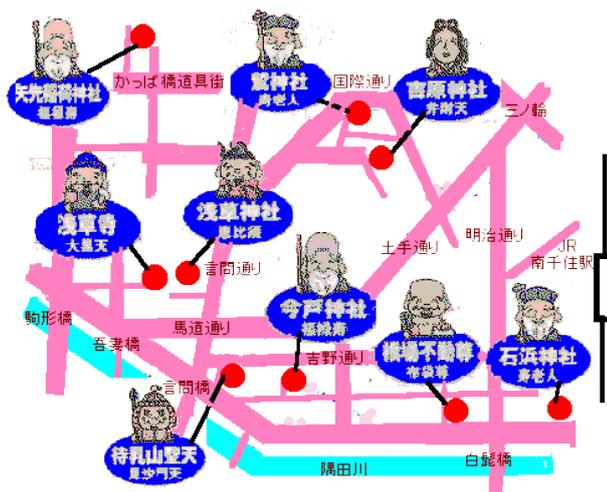
2021年開運 新年浅草七福神めぐり

(東京都新宿区)



コロナ禍で、恒例の浅草七福神参拝を会員うちそろって行うことが困難でしたので、WSCを代表して参拝してきましたので報告をします。さすがに自粛などの制限下ではやや人出がまばらであり新年の雰囲気としては少々寂しく感じました。七福神めぐりを新年開運の縁起を念じ、しっかりと各所に寄り道しながら参拝しお賽銭をはずみ、会員の無事息災の願を掛けてきました。近くにある願掛けスポットも参拝しました。本年の靈験あらたかなることが期待して・・・

江戸三大祭りは、日枝神社の山王祭と神田明神の神田祭、そしてここ浅草神社の三社祭りです。この神社は、この祭りで著名です。



矢先(やさき) 稲荷神社 福祿寿

東京都台東区松が谷 2-14-1 バス停：菊屋橋



かっぱ橋道具街の近くにあります。徳川家康が建立した三十三間堂では、通し矢が盛んに行われました。矢的の先の守護神としてお稲荷さんを祀りました。これが、矢先稲

荷神社の名の由来です。拝殿の天井には絵馬が並び、歴史上の人物が馬と共に描かれています。

日時：2021年1月7日(木) 日帰り
 時間：浅草駅起点終点 13時05分～16時030分
 歩数：2万歩
 順路 地下鉄銀座線(長い移動のみ徒歩時間記入)
 浅草駅→浅草寺→浅草神社→20分→矢先稲荷神社→25分→鷲神社→吉原弁財天→吉原神社→30分→石浜神社→橋場不動尊→20分→今戸神社→待乳山聖天→浅草駅

台東区循環バス 「めぐりん」ミニバス 5路線

浅草七福神巡りでは、矢先神社と次の鷲神社は移動に25分を要します。ここで威力を発揮したのが、これです。5路線あり、15分毎に来ます。料金は1回100円で、一日乗車券なら300円です。



浅草(せんそう)寺 大黒天

東京都台東区浅草 2-3-1 バス停：浅草雷門



創建は628年推古天皇の時代で、蘇我の蝦夷が活躍し、遣唐使を初めて派遣した年です。この年には日食もありました。浅草寺縁起では、隅田川での漁の網に入った一寸五分の金の観音様を祀ったことが始まりです。

浅草(あさくさ)神社 恵比寿

東京都台東区浅草 2-3-1 バス停：浅草雷門



浅草寺の隣にあります。明治の神仏分離によって浅草寺と別れ、明治6年に浅草神社となりました。社殿は徳川家光の寄進で、1649(慶安2)年に完成しています。重要文化財です。

鷲(おおとり)神社 寿老人

東京都台東区千束 3-18-7 バス停：千束

浅草のおとりさまで親しまれているのが、「新年の幸運を祈願する」酉の市です。「福をかき込む」ことに由来した熊手を求める人たちが賑わいます。この酉の市は、この鷲神社と長國寺の2寺社で開催されます。明治の神仏分離により別れましたが、「神と仏の酉の市」として一体での開催を誇っています。境内に、正岡子規の句碑、俳人其角の句碑、樋口一葉の文学碑がありました。一葉は、ここの東側の竜泉の長屋で『たけくらべ』を書きあげました。

吉原(よしわら)神社 弁財天

東京都台東区千束 3-20-2 バス停：千束、吉原大門



玄德(よしとく)稲荷社、新吉原廓内四隅の守護神榎本稲荷社、明石稲荷社、開運稲荷社、九朗助稲荷社の五社が1872(明治5)年に合祀され、

「吉原神社」となりました。新吉原遊郭の歴史と重なっています。

五社のなかで九朗助稲荷社の創建は古く、711(和同4)年、白狐黒狐が天下るのを見た千葉九朗助という人の手で元吉原の地に勧請されたのがはじまりだそうです。この頃は、武蔵秩父から銅が朝廷に献上され、和同開珎が鑄造され、710年には奈良平城京に遷都がなっています。

開運、縁結び、商売繁昌のご利益のある神として信仰を集め、江戸の小堀集にも登場しています。

石浜(いしはま)神社 寿老人

東京都荒川区南千住 3-28-58 バス停：南千住3丁目



奈良時代 724(神亀元)年の創建で、荒川区内最古の神社です。ご祭神は、天照大御神、豊受大御神、寿老人神です。

関東武将の崇敬が篤く、中世に大社として発展しています。東に隅田川、西に富士山、北に筑波山を望む景勝地で、江戸時代、伊勢詣での代わりに参拝する人が多く隆盛したそうです。『江戸名所図会』に紹介されています。

橋場(はしば)不動尊 布袋尊

東京都台東区橋場 2-14-19 バス停：橋場1丁目



760(天平宝字4)年、寂聴(じゃくそう)上人が開創した天台宗の寺です。東大寺建立に尽力した良弁僧正の高弟です。ご本尊はその折の不動明王ですが、秘仏で拝観は

できませんでした。山号の砂尾山はこの地の砂尾長者から、橋場とは隅田川にあった江戸時代の渡しからといわれています。

今戸(いまだ)神社 福祿寿

東京都台東区今戸 1-5-22 バス停：浅草7丁目



縁結びのご利益で著名で、境内には願が叶った方の絵馬がたくさんあります。女性には大人気です。

伊弉諾尊(いざなぎのみこと)と伊弉冉尊(いざなみのみこと)という夫婦の神様が祀られています。

境内には、新選組一番隊組長沖田総司の碑があります。ここが最後を迎えた場所だそうです。小説では、必ず容姿端麗な美剣士として登場します。

待乳山(まっちやま) 聖天 毘沙門天

東京都台東区浅草 7-4-1 バス停：隅田公園



本龍院またの名が待乳山聖天です。十一面観音菩薩を本地仏とする聖天様(大聖歓喜天)がご本尊です。

現世の願いを叶えてくれる仏様として、庶民の信仰を集めています。境内のあちこちに見られる大根と巾着は、聖天様のご利益を表すもので大根は身体壮健とともに、良縁成就と夫婦和合の願いが込められています。巾着は、商売繁盛を表し、信仰のご利益の大きいことを示しています。

『鬼平犯科帳』の池波正太郎の生家は、境内の南側にありました。

浅草の夕暮れ

七福神巡りを済ませて、見上げた新春の空は、晴れ上がり澄みわたっていました。

2021年への期待を胸に、銀座線浅草駅から帰途につききました。

